

2023ダイワカワハギ船製品 極鋭カワハギRT AGS N-MC

●極鋭カワハギRTシリーズに新たに仲間入りしたのがN-MC。従来のSF（調子比較1134）よりさらに穂先を柔軟にした0234調子となっている。軽量化とグリップ性を向上したゼロシートを搭載やESS、AGS、SVF、SMT、X45などダイワテクノロジーを満載。8月発売予定。



■全長1.78m、継ぎ数1本、自重59g、オモリ負荷5〜35号、メーカー希望本体価格67,000円

メタリア カワハギ

●高感度メタルトップ搭載のメタリアカワハギがさらなる軽量化を図ってリニューアル。ゼロシート、高密度カーボンのHVFNANOブラ ▲キャビティ構造のゼロシートもス、センターカット2ピースなど新たな機能も搭載。8月発売予定。



アイテム	全長 (m)	継数 (本)	仕舞 (cm)	自重 (g)	先径/元径 (mm)	負荷 (号)	カーボン有率 (%)	メーカー希望本体価格 (円)
S/MH-175	1.75	2	92	65	0.6/9.8	20-40	99	40,000
M-175	1.75	2	92	66	0.6/9.8	20-35	99	40,000
MH-175	1.75	2	92	67	0.6/9.8	20-40	99	40,000
MHH-175	1.75	2	92	71	0.7/9.8	20-40	99	40,000



林良一
メタリアカワハギ
MH-175

宮澤幸則
極鋭カワハギRT
AGS N-MC

萱沼昌樹
メタリアカワハギ
M-175

荒井良之助
メタリアカワハギ
S / MH-175

堀江晴夫
メタリアカワハギ
MHH-175

▲誘いとステイの繰り返して堀江さんに良型ヒット
▼萱沼さんはタタキ〜タルマセを駆使



▲当日最大は林さんが釣ったジャスト30センチ

カワハギデスター陣がお披露目 極鋭、メタリアにニューフェイス

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.85

カワハギ最前線

at 三浦半島久比里出船 → ★ダイワスタッフとフィールドデスターによるカワハギ新製品のお披露目釣行会



●鴨居、竹岡、久里浜沖と幅広く探った

●8月1日の三浦半島剣崎沖解禁を期に、2023カワハギシーズンがスタート。とともにダイワからファン注目のカワハギ製品がズラリ発売される。今回はお披露目を兼ねて、ダイワスタッフとフィールドデスターが新製品を持参して三浦半島久比里から出船した模様をお届けする。



▼リニューアルしたメタリアカワハギは4アイテム



▲極鋭カワハギ〜N-MCとアドミラはカラーリングもベストマッチ

●アドミラは右巻きと左巻きを用意

アドミラ100XH / XHL

●軽さと操作性が特徴のアドミラが「ハイバードライブデザイン」搭載で新登場。TWS、100ミリハンドルアーム、UTD、20段階で調整可能なマグフォースブレーキなど搭載。好評発売中。

■ギア比8.1、自重155g、最大ドラグ力4.5kg、糸巻き量PE1号200m、メーカー希望本体価格61,000円



快適ワンディバックSS

●仕掛け2セット、替えバリ10本入りで一日遊べる仕掛けセット。スピード、パワースピード、パワーフック、ネオフック、パワーマルチの5種。全13アイテムで価格は1130円



カワハギ船シンカーSK

●特大カジ付きシンカーでしっかり潮をつかむ。センサーアイ付き。25と30号。夜光ピンク、夜光ライト、フルゴールドの3色。価格は790円と850円。8月発売予定。



カワハギピラピラ集寄

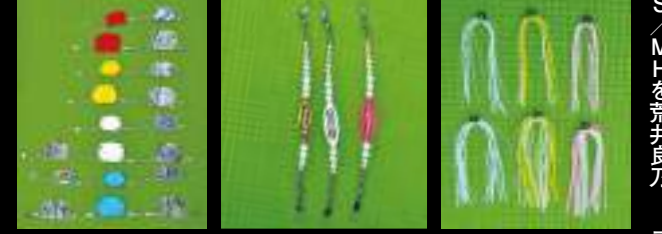
●アワビシートとホログラムのフラッシング。4つ穴仕様。M、Lとも0.75〜2号まで4種。カラーで号数識別。1パック2枚と3枚で価格は870〜1000円

カワハギラトル集寄

●音でカワハギを魅了するラトルボールとパールビーズ付き集寄。カラーは3色。1.5、2、2.5号の3種で価格はすべて900円

カワハギヒラヒラ集寄

●ゴムリングをシンカーアイ、スナップにも楽らく装着。ノーマルとスリムの2種。カラーは3色。各2個入りで価格は540円



カワハギ船シンカーSRV

●音でアピールする特大ラトルボールとセンサーアイ付き。25と30号。フル夜光、フルピンク、フルゴールドの3色。価格は850円と900円。8月発売予定。



動画連動!



★当日の動画はダイワ「船最前線」よりご覧になれます。

梅雨明け直後の7月下旬、三浦半島久比里、巳之助丸の船着き場に集結したのは宮澤幸則さん以下、ダイワフィールドデスター14人。今期のカワハギ新製品を持参しての釣行会である。ダイワのカワハギ新製品といえば、全国のファン注目の。今年も多くタックル、仕掛け、関連商品が発売される。筆頭は極鋭カワハギRTシリーズに仲間入りした「極鋭カワハギRT AGS N-MC」、続いて、大幅リニューアルされた「メタリアカワハギ」のロッド4種である。これにカワハギ釣りに最適なリール「アドミラ100XH / XHL」も持参している。5人全員が最新タックルを用意したところで、7時半に出船。この日は仕立船ということもあり、なごやかムード。まずは鴨居沖水深15メートル前後からのスタートだ。最初に宮澤さんと林良一さんが極鋭N-MCを使用しながら特徴を語る。「極めて柔軟な穂先、MC調子ともいわれるこの竿は極鋭EXシリーズにもありますが、それより穂先をややマイルドに仕上げ、穂持ちもクッション性を持たせてあるので、より使いやすい調子となっています」と林さん。「ゼロシートに変わって操作性も向上しています」と宮澤さん。助さん、Mを萱沼昌樹さん、MHを宮澤さんと林さん、MHHを堀江晴夫さんが手に持った釣りと変わった。それぞれの釣り方を生かしての配分である。全員が使用した「アドミラ」に関しては、ハイバードライブデザイン搭載でより滑らかに、マグフォースブレーキはバックラッシュの防止など一様に絶賛していた。カワハギの活性は今一だったものの、各自それぞれの誘い方で、底中心のタナをいねいに探ってポツポツとカワハギを釣り上げていく。潮の速い鴨居沖、やや時期尚早の竹岡沖と転戦して後半は久里浜沖で腰を据える。ここでは20センチを超える良型メインでスリル満点のヤリトリも繰り返された。最大は林さんが釣った30センチジャストの大型だった。午後2時半に納竿。タックルだけでなく、ダイワらしいアイデアとウィットに富んだ新製品の集寄せ仕掛け類も使い回しながらの釣りで、全員が納得の表情で船を下りた。